

大学スペイン語教授法強化講座：「スペイン語教育力向上を目指して」

日時：2017 年 3 月 18 日(土)

場所：東北大学 川内北キャンパス

教育文化としての「スペイン語初級文法」

小川雅美

学校での外国語教育において、「会話（もしくは「コミュニケーション」）か、文法か」という対立的構図は、40 年以上前から存在しています。しかし、教授法研究の議論と、実践の議論は、なかなかかみ合いません。本セッションは、このような状況を、参加者のみなさんとともに打開することをめざしています。文法の教授方法は、しばしば「体系的」な教え方であるとされてきました。しかし、実のところ、スペイン語教育のために体系化された文法が存在するというよりもむしろ、多くの教科書に書かれ自分も習った文法教授のスタイルを、今風に修正しつつ継承している側面もあるのではないのでしょうか？そうであれば、私たちはひとつの教育文化を生きていると言えます。自分たちの教授方法を文化的実践として相対化することにより、より前向きな議論が可能になると考えます。

本セッションでは、日本の大学における外国語教育というコンテキストに私たちが埋め込まれているという事実、コミュニケーションと思考の本質である言葉の意味についての私たちの認識、文法を明示的に教える目的と理由、この 3 つに着目します。そして、参加者の間で、自らのスペイン語学習および教授の経験から、各自の「スペイン語観」「スペイン語学習（もしくは教授）観」を出し合い、そこから、それぞれの教育現場により適した「スペイン語初級文法」のあり方を問い直していきます。